

第6次草津市総合計画 基本構想（案）  
パブリックコメントの実施結果について

実施結果

- 1 実施期間 令和2年8月3日（月）から令和2年9月2日（水）まで
- 2 意見者数 2人
- 3 意見総数 7件（意見の内容および意見に対する市の考え方は別添のとおり）
- 4 意見の反映件数 0件

周知方法

広報媒体	実績
計画案の配架	配架場所≪必須配架場所≫ ・草津市役所【企画調整課】（1人） ・草津市役所【情報公開室】（0人） ・図書館（0人） ・南草津図書館（0人） その他の配架場所 ・人権センター（0人） ・各隣保館【4箇所】（0人） ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（0人） ・草津市立まちづくりセンター（0人） ・各地域まちづくりセンター【14箇所】（18人） ・長寿の郷ロクハ荘（5人） ・なごみの郷（0人） ・草津市社会福祉協議会（0人） ・アミカホール（0人） ・クレアホール（0人） ・総合体育館（3人） ・YMITアリーナ（3人） ※合計閲覧者数30人（ ）内は閲覧者数
資料送付	送付数：94件 （草津市総合計画審議会委員28件、草津市総合計画策定市民会議委員25件、その他41件）
個別説明	説明数：1件（タウンミーティング） 参加者数【会場】33人【オンライン】8人
市ホームページ	アクセス数：309件（9月3日確認）
広報紙	8月1日号
資料提供（記者提供）	7月28日付け
その他（市フェイスブック）	8月3日付け

## 計画案の概要版掲示施設

### 【必須施設】・図書館

- ・南草津図書館
- ・各隣保館（4箇所）
- ・人権センター
- ・各地域まちづくりセンター（14箇所）
- ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ

### 【その他の施設】

- ・草津市役所（企画調整課、情報公開室）
- ・草津市立まちづくりセンター
- ・長寿の郷ロクハ荘
- ・なごみの郷
- ・草津市社会福祉協議会
- ・アマカホール
- ・クレアホール
- ・総合体育館
- ・YMIT アリーナ

## 結果公表の日時

(1) 公表日時 【ホームページ】 11月13日（金）から

【広報紙】 11月15日号

(2) 公表方法

ホームページ、広報紙、結果の配架（草津市役所（企画調整課、情報公開室）、図書館、南草津図書館、人権センター、各隣保館（4箇所）、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ、草津市立まちづくりセンター、各地域まちづくりセンター（14箇所）、長寿の郷ロクハ荘、なごみの郷、草津市社会福祉協議会、アマカホール、クレアホール、総合体育館、YMIT アリーナ）

提出された意見と市の考え方

頁	意見の要旨	市の考え方
24 25	<p>「将来に描くまちの姿」について 草津市の地元住民と転入者が同じ関心事や趣味をとおして作業し、仲良くなるようなつながり・出会いのある場を設けてほしい。草津市に住んで幸せを毎日感じられるようになりたい。</p>	<p>第6次草津市総合計画基本構想では、将来に描くまちの姿として、「ひと・まち・ときをつなぐ絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」を掲げており、「つながり」を大切にしながら、「絆」をつむぎ、誰もが「健幸」になれるまちを目指すこととしております。</p> <p>なお、総合計画では具体的な事業の記載はいたしません、各分野の計画などで検討してまいります。</p>
24 25	<p>「将来ビジョン」について 健幸創造都市という表現に違和感がある。「創造」というのであれば、「クリエイティブ」などといった新たな価値創造をする文言や表記があると良いと感じる。</p> <p>SDGsとあわせて、バックキャスティングなどの視点も入れると良いと思う。</p>	<p>本市では、平成29年に「健幸都市基本計画」を策定し、健幸都市の実現に向けた取組を進めております。</p> <p>「健幸」の定義は「生きがいを持ち、健やかで幸せであること」であり、また「創造」には、市民・地域・企業などあらゆる主体と共に、少子高齢化をはじめ、本市が、今後、直面する厳しい局面に果敢に挑戦し、共に創造するという思いを込めております。</p> <p>また、バックキャスティングの視点は重要であると考えており、第6次草津市総合計画基本構想では、今後の人口見通しを踏まえた中で、近い将来訪れる人口減少局面を見据えながら、持続可能なまちづくりを進めてまいります。</p>
29	<p>基本構想 SDGsの視点が基本構想に入っている点はとても良いと思う。それを踏まえて、草津市の特徴や魅力などの強みをどこかの表記に入れ込むと他市町村との差別化ができると考える。</p> <p>(例) 人口が令和12年まで増加予測の自治体などは、国内でも数少ないと思うので、そのような強みを生かした取組を進める。また、若い世代との協働で誰1人取り残さない社会の実現など。</p>	<p>本市の強みは、立地特性を生かした中で、総合計画に基づき、各種施策を展開してきたことにより、住みよさを評価いただいている点などであると考えております。</p> <p>このことから、第6次草津市総合計画基本構想では、こうした強みに関して記載するとともに、住みよさを維持しながら、誰もが生きがいを持ち、健やかで幸せを感じられるまちであるための取組を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、現在策定中の第6次草津市総合計画第1期基本計画では、基本方針ごとに関連するSDGsの目標を示すなど、多様なステークホルダーとの連携の強化や目標の共有を図り、また、本市の特徴や魅力を生かしながら、SDGsの目的である持続可能なまちの実現を目指してまいりたいと考えております。</p>

頁	意見の要旨	市の考え方
30	<p>「こころ」育むまち「生涯学習・スポーツ」について 市民プールについて65歳以上を無料として利用推進を図ってほしい。</p>	<p>まちづくりの基本目標「こころ」育むまちの「生涯学習・スポーツ」の分野に取組の方向性をお示しさせていただいておりますとおり、誰もが心身ともに健やかな生活を送ることができ、人との交流やつながりのある豊かなスポーツライフを楽しむことができるよう、スポーツ機会の充実や環境づくりに取り組んでまいります。</p> <p>なお、総合計画では具体的な事業の記載はいたしません、各分野の計画などで検討してまいります。</p>
32	<p>「笑顔」輝くまち「コミュニティ」について 空き家を活用してNPO法人に市民のたまり場や自主運営のカフェを運営してもらうなど出会いの機会をつくってほしい。</p>	<p>まちづくりの基本目標「笑顔」輝くまちの「コミュニティ」の分野に取組の方向性をお示しさせていただいておりますとおり、地域コミュニティや市民公益活動団体などに加え、地域内外の多様な人々がつながる新たなコミュニティが、それぞれを認め合い、つながる地域社会づくりを進めてまいります。</p> <p>なお、総合計画では具体的な事業の記載はいたしません、各分野の計画などで検討してまいります。</p>
33	<p>「笑顔」輝くまち「子ども・子育て・若者」について 子育てのまち明石市の真似をしたらどうか。 1. 子どもの数をふやすために2人目3人目の保育料を無料化して、草津市への転居人数をふやす。 2. 中学校3年まで医療費を無料化する。 3. 若い20代30代の女性や若者の就労を援助して結婚子育てをできるようにする。地元の農業や地元の会社へ就職できるように草津市が応援する。</p>	<p>まちづくりの基本目標「笑顔」輝くまちの「子ども・子育て・若者」の分野に取組の方向性をお示しさせていただいておりますとおり、子どもが健やかに育ち、子育てや子どもたちの成長に喜びや楽しさを感じることができる社会の実現を図ってまいります。</p> <p>また、まちづくりの基本目標「魅力」あふれるまちの「商工観光」の分野に取組の方向性をお示しさせていただいておりますとおり、多様な人材が活躍できる環境づくりや就労相談などの支援に取り組んでまいります。</p> <p>なお、総合計画では具体的な事業の記載はいたしません、各分野の計画などで検討してまいります。</p>
34	<p>公共交通などまめバスの拡充をしてほしい。(日曜日運行など) 「65歳以上もしくは後期高齢者と孫が一緒に乗れば孫が無料になる」や、「障害者は無料とする」などを定め、もっとバスを活用できるようにしてほしい。</p>	<p>まちづくりの基本目標「暮らし」支えるまちの「交通」の分野に取組の方向性をお示しさせていただいておりますとおり、誰もが安全で安心に生活できるまちの形成を目指し、効率的かつ効果的な利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの形成を図ってまいります。</p> <p>なお、総合計画では具体的な事業の記載はいたしません、各分野の計画などで検討してまいります。</p>